

第一礼拝次第

メッセージ:渡真利彦文牧師
プレイスリード:郭永東牧師



前奏			
頌栄	540	会衆	会衆
主の祈り			
プレイズ	「輝かせよ」 「主イエス神の愛」	会衆	会衆
聖書朗読	使徒言行録 1:15~26 (新約聖書 p214)	司会	司会
祈禱		司会	司会
賛美	168	会衆	会衆
メッセージ	「ペンテコステへの備え③」	牧師	牧師
祈禱		牧師	牧師
賛美	529	会衆	会衆
聖餐式			
献金			
報告		司会	司会
頌栄	新生 672b	会衆	会衆
祝禱		牧師	牧師



第二礼拝次第

メッセージ:郭永東牧師

聖書:ヨハネ 21:15~25 (新約聖書 p211)

メッセージ:「イエス神の質問」

プレイズ:「花も」「イエスその御名は」

賛美:新生 86 新生 386



ファミリー礼拝

メッセージ:渡真利彦文牧師

聖書:ルカ 15:1~10

メッセージ:「迷子の羊、なくした銀貨のたとえ」

<巻頭言>

「こどもたちに福音を伝えよう」

牧師 渡真利彦文

文明が進みテレビやコンピューターなどの媒体物が便利になっても、福音を伝えるのは最終的には人です。人の心に、魂に直接触れることができるのは、暖かいぬくもりのある人の言葉、愛です。ですからイエスさまは、飼う羊のいない群衆をご覧になって言われました。「収穫は多いが働き手が少ない。だから収穫のために働き手を送ってくださいるように、収穫の主に必要なさい。(マタイ 9:36-38)」

神さまは福音を伝えるために、人を求めておられるのです。働き人が起こされて、収穫の場に遣わされるために、まず必要なことはイエスさまが言われたように、祈りです。

さて、教会学校に来る子どもたちが少なくなつたと言われます。しかし、このことは、ピンチではなくチャンスです。たくさん子どもが集まってくれることは喜ばしいことですが、ややもすると一人ひとりの子どもと接する機会が失われてしまいます。神さまが送ってくださった一人ひとりのかけがえのない魂としっかりと向き合えるチャンスです。子どもたちの心に触れ、寄り添うことです。イエスさまは弟子たちに、「わたしの子羊を飼いなさい」(ヨハネ 21:15) と言われました。

「今や、恵みの時、今こそ、救いの日」(Ⅱコリント 6:2)。私たちにも、子どもたちにも、明日があるという約束はありません。今日を精いっぱい主の愛に満たされて、生かされている喜びにあふれ、主の働き手として仕えていこうではありませんか。